

2025 年度第 6 回価格審査会の開催について

2025 年度 6 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2025 年 9 月 16 日(火)
場 所	本部 6 F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 石井 修一 東日本建設業保証株式会社 経営企画部 副部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリnz・テクリスセンター長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長
当 会	共通資材調査部 部長：小林 法雅、次長：南 昌宏 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：大澤 勝、課長：本間 哲

☐2025 年度第 5 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2025 年度第 6 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
1. 「建設物価」10月号、「Web 建設物価」10月号 「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の入稿状況 ・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 レディーミクストコンクリート（普通セメント使用）（弘前市ほか35都市）、再生砕石類（札幌市ほか25都市）、アスファルト混合物（札幌市ほか25都市）、ストレートアスファルト（全国）、インターロッキングブロック（福岡市ほか6都市）、芝（札幌市）、燃料油（水戸市ほか42都市）ほか 【土木コスト情報】 <市場単価>道路標識設置工（全国）、道路付属物設置工（全国）、法面工（全国）、吹付枠工（全国）、橋梁用伸縮継手装置設置工（全国）、橋面防水工（全国） <標準単価>橋梁塗装工（全国）、構造物とりこわし工（全国）、コンクリートブロック積工（全国）、排水構造物工（全国）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）（全国）ほか 【建築コスト情報】 <市場単価>鉄筋工事（福井市）、コンクリート工事（ポンプ圧送）（高松市ほか1都市）、型枠工事（富山市ほか1都市）、型枠工事（富山市ほか1都市）、吹付工事（札幌市ほか8都市）、塗装工事（札幌市ほか8都市）ほか <標準施工単価>地業工事（東京都23区）、タイル工事（全国）、内装工事（ビニル床シート）（全国）ほか

- ・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

異形棒鋼（鳥取市ほか4都市）、H形鋼（青森市ほか40都市）、等辺山形鋼（青森市ほか40都市）、鉄スクラップ（札幌市ほか38都市）ほか

【土木コスト情報】

＜標準単価＞ノンコーキング式コンクリートひび割れ誘発目地設置工（沖縄県）

【建築コスト情報】

＜標準施工単価＞土工事（親ぐい横矢板工法）（全国）、土工事（山留め支保工）（全国）、鉄骨工事（札幌市ほか9都市）

2. 比較資料

- ・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	レディーミクストコンクリートは多くの地区で値上がりが続いている。今年度は需要減少にもかかわらず、年度当初の値上げが浸透しているように見える。需要減少が続くなか、来年度の動きはどう予想するか。	本来であれば、需要の減少は価格下落の要因となるが、固定費比率の上昇を理由に値上げを打ち出す組合も見られる。多くの組合は需要減少に危機感を抱き、共販体制の強化を進めている。製造・輸送コストの増加が今後も続くとみられることから、レディーミクストコンクリート価格は上昇基調を維持する可能性が高い。
質問 2	働き方改革や暑さ対策の影響で工期が長期化する事例が増えている。このような状況下で、歩掛（施工効率）の低下が価格に影響していることはあるか。	目立った大きな値上がり要因ではないものの、工事費上昇の背景の一因となっている。猛暑や作業環境の変化による歩掛の悪化傾向は認識しており、今後も注視する必要があると認識している。
質問 3	土木工事市場単価に含まれる労務費のコストについて、金額や比率を具体的な数値として把握しているのか。	土木工事市場単価は「施工単位あたりの取引額」を調査・掲載しているものであり、労務費や資材費を定量的に内訳として把握しているわけではない。ただし、調査時のヒアリングにおいては、価格動向の背景として、労務費や材料費の大まかな比率や動向について確認している。
質問 4	ICT 施工や BIM/CIM の活用が、小規模工事においても広がっている。土木コスト情報に ICT 施工の掲載はしないのか。	ICT 施工に関する工種は、土木工事積算基準書に掲載されている場合が多く、その工種については、土木コスト情報には掲載しない。ただし、基準書に未掲載の工種において、ICT 施工の利用が広がれば、調査のうえ掲載を検討する。

質問 5	大阪地区のセメント価格が他地区と比較して低い水準であるのに対し、レディーミクストコンクリート価格は高い水準にある。セメント価格とレディーミクストコンクリート価格の関係性を教えてほしい。	セメントはレディーミクストコンクリートの主原料であるため、その価格変動はレディーミクストコンクリート価格に大きな影響を及ぼす。ただし、レディーミクストコンクリートは原材料だけでなく、需給バランス、協同組合の組織率、地域の競争状況にも左右される。したがって、セメント市況が、直接的にレディーミクストコンクリート価格に反映されるわけではなく、地域ごとの特性が価格形成に影響を与えている。
質問 6	設計労務単価と市場単価の調査時期について教えてほしい。また、調査時期の違いによる市場単価への影響はあるのか。	設計労務単価は、国土交通省が毎年 11 月に実施する労務費調査に基づき、翌年 2～3 月に公表される。一方、市場単価は、3 カ月単位で調査を実施していることから、設計労務単価と市場単価には調査時期のタイムラグが発生する。
質問 7	非鉄スクラップ（銅）と伸銅品の価格はどのような関係があるのか。	非鉄スクラップ（銅）は、国際銅相場の影響を強く受けるため、短期間で価格が変動する。一方、伸銅品は、仕入れた銅を加工するため、価格転嫁にタイムラグがある。
質問 8	電線価格が以前ほど動かなくなっている。データセンター需要が旺盛と報道されているが、需要要因より銅相場の影響の方が強いのか。	電線価格は国際銅相場との連動性が強い。2023 年末から 2024 年上期にかけて需要はひっ迫し納期が長期化した。現在は供給体制も改善に向かっており、データセンター等への影響は限定的。現状は、需要よりも国際相場主導で推移している。
質問 9	札幌地区で砂の価格が上昇したが、今後横ばいとされている。背景を説明してほしい。	札幌における生コン用の砂は、天塩産の砂が海送・陸送を経て流通している。天塩産の砂は、採掘量の減少や港湾の制約があるため、コスト上昇要因を抱えている。このため、中長期的には再び値上がりする可能性があるものの、足元で大幅な値上げがあったことから、先行き（1～3 カ月）の見通しとしては横ばいと表現した。
質問 10	東京の鉄筋工の需給状況はどうなっているのか。また、福井の鉄筋工に関して「労務費上昇を背景とする値上げ」とあるが、具体的にはどういう意味か。	東京では大型物件はあるものの中小物件が閑散としているため、鉄筋工の稼働率は落ち着いており、市況も横ばいで推移している。一方、福井では専門工事業者が労務費の上昇を理由に総合工事業者へ値上げを要請し、その結果、価格改定が受け入れられたということである。

質問 11	那覇地区のコンクリート用砕石の説明において、骨材の原石不足や運搬コストの増加が見込まれる状況下で、先行き「横ばい」とした背景を説明して欲しい。	防衛施設工事の増加により今後の原石不足が懸念されるものの、足元（1～3 カ月）では需給環境の急変は見込まれていない。ただし、防衛関連需要の継続により、原石不足や輸送コストの増加が続けば価格が上昇に転じる可能性もあり、状況を注視する必要がある。
質問 12	ガス管について「安値販売が散見され、先行き弱含みの公算」とある。これはどのような状況を指すのか。	需要回復が遅れる中、メーカー各社は生産調整を継続し、市中への過剰な在庫流入を抑えるなど需給バランスの維持に努めている。しかし、実需の回復にはなお時間を要すると見込まれるため、一部の特約店では販売量確保を優先する傾向が見られた。市況は、先行き弱含みに転じる気配があることから、このような表現とした。
審議結果	「建設物価」10月号、「Web 建設物価」10月号 「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の価格動向に問題はなかった。	

以 上